

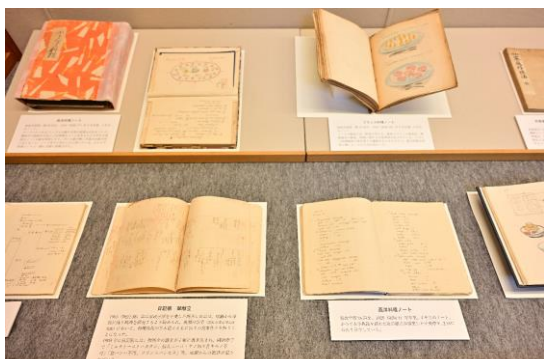
PRESS RELEASE

日本女子大学成瀬記念館が4月10日（木）より 食科学部開設記念展「日本女子大学の授業—伝統の食物学—」を開催 明治・大正・昭和初期の授業を中心に伝統的な食物学の歩みを振り返る

学校法人日本女子大学（東京都文京区、理事長：今市涼子）の附属機関である成瀬記念館では、2025年4月に開設した食科学部の基盤となった家政学部の学びに焦点を当てた企画展「日本女子大学の授業—伝統の食物学—」を4月10日（木）より開催します。

1901年（明治34年）に設立された家政学部では、「家政及芸術」の科目の一環として料理の授業が行われていました。当時の生徒が記したノートには、料理学が生理・衛生・経済・理化・美学などの知識と技術を統合した学問であると明記されています。また、「調理学トハ食物ヲ科学的ニ考察調理スルノ学ナリ」との記述もあり、料理が科学的知識に基づく研究分野として位置づけられていたことがうかがえます。

本展示では、明治・大正・昭和初期に生徒たちが残したノートを中心に、当時の授業の様子を紹介します。伝統的な食物学の歩みを振り返る貴重な機会となりますので、本学にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



生徒たちが残した授業ノート



壁には当時の授業写真が並ぶ

■開催期間

[前半] 4月10日（木）～5月2日（金）

[後半] 6月3日（火）～7月30日（水）

PRESS RELEASE

■開館日・時間

開館日：火曜日～土曜日

開館時間：平日 10：00～16：30、土曜日 10：00～12：00

※どなたでも入館可能です。

※開館日および開館時間は、変更になる場合がございます。

■主な展示

- ・西洋料理ノート
- ・フランス料理ノート
- ・成瀬仁蔵書簡
- ・森村夫人御寄贈の食卓用食器
- ・赤堀峯吉「和洋家庭料理法 全」

■成瀬記念館について

成瀬記念館は、本学の創立 80 周年記念事業の一環として、1984(昭和 59)年に開館。目白キャンパスの正門を入れて左手に建つロマネスク調赤煉瓦風の建物です。本学の創立者である成瀬仁蔵の関係資料の他、学園に関する資料、女子教育史に関する資料を収集・保存・研究・公開する大学博物館です。創立者の教学の理念と学園の歴史を明らかにし、広く女子教育の進展に寄与することを願って設立されました。

■食科学部について

「食科学部」は、「食科学科」と「栄養学科」の 1 学部 2 学科で構成されます。

「食科学科」では「『食』で未来をつくる。」をコンセプトに、「生活者」の視点を重視して「食」を科学的に学び、食関連のさまざまな領域で活躍する専門家を育成します。食品のおいしさや機能を学問的に裏付けることにより、科学的視点をもつ高い資質を身につけることを目標にしています。

「栄養学科」では、「栄養ですべての人を幸せに。」をコンセプトに、さまざまなライフステージにおいて疾病・障害・貧困などにより食の問題を抱える人たちから、健康増進・疾病予防やパフォーマンス向上を目指す人たちまで、日本国内にとどまらず世界中の人々を視野に入れ、栄養領域ですべての人の Well-Being に貢献できる管理栄養士を養成します。

https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/food_and_nutritional_sciences/index.html

PRESS RELEASE

【参照リンク】

成瀬記念館 ホームページ

https://www.jwu.ac.jp/unv/about/institutes/naruse_memorial/index.html

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、文理融合の教育環境をもつ女子総合大学です。幼稚園から大学院までの一貫教育、さらに卒業生以外にも門戸を開くリカレント教育など、誰もが生涯を通じて学び、成長し続ける社会を創るための機会を提供しています。多様で非連続に変化する社会において、新しい明日を共に創る人材を育てています。詳しくは、<https://corp.jwu.ac.jp/>をご覧ください。



学校法人 | 日本女子大学 法人企画部 広報課

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 <https://www.jwu.ac.jp/>

Phone. 03-5981-3163 e-mail. n-pr@atlas.jwu.ac.jp

Facebook. [@Official.JWU](#) Instagram. [@japan_womens_university](#) X. [@JWU_official](#)